

## 週日の説教

金 大烈 神父 2011年5月19日(木)

### 《正しく仕える心》

百貨店とか、どこのどんな店に行っても、サービス業の務めをしている人々はお客様に対して、本当に低い姿勢を保ちながら頭を下げて、そして優しく親切な言葉、教養のある言葉を使いますよね。そのようなもてなし、扱いを受けるお客さんの立場では、やはり気持ちがよくなります。ある店に行くと親切さが全然見えなかったら、不快な気持ちになってしまうのが今の時代です。

親切さを見せているサービス業の内側には、隠されている人々の心があるのではないかと思います。そのサービス業の人々が自分に礼儀正しさを見せている時に、「もし利害関係がなかったら自分にそのような親切さを見せるか、仕える姿を見せるか」と考えてみますと、実際にそうではないことを私達はよく知っています。

結局今の時代、サービス業が発達して色々な親切さを見せるいい面には、やはり利害関係、利益があるかどうかを意識する、そして商業的にこれは損になるか、損にならないかをよく戦略的に考え、言葉の使い方、また接客の姿勢を徹底的に教育されるのでしょうか。それはある意味で経験によって出た結論だと思います。しかし、その心の中に私達がいつも警戒しなければならないのは、人々に仕える社会に見えるけれども、その中には人々の浅薄な考え、いわゆる浅い考えが隠れているのではないかと思います。私達は自分も知らないうちにどうにか君臨したい、誰かに役立ってあげたい心理が働いているから、それをよく利用してこのような親切さを見せようとする社会になっていると思います。ですから、親切に何かすることは本当に大事なことです。しかし、信者である私達は優しさを見せながらも卑屈とか、卑怯な姿を見せてはいけません。仕えることは卑屈になることとは全く距離があります。

イエス様がいつも人々の前で正々堂々と話されたことを考えてみますと、そして、イエス様が弟子達の足を洗いながら「人に仕える者になりなさい。」とおっしゃったそのいい面には、やはり**“正しく仕える心”**を要求していらっしゃったのではないかと思います。私達の中に虚栄心が隠れているのではないかとよく考えるべきだと思います。

私も今日の福音(ヨハネ 13・16-20)を読んで自分なりにちょっと反省してみました。本当に低くなることとはどういう意味か、<sup>へりくだ</sup>謙ることとはどういう意味か、人に仕えることとはどういう意味かとよく考えてみました。イエス様が見せて下さった謙遜には、卑怯的な卑屈的なところは全然見えなかったのです。本当に愛はどの関係も正しさが基準になって、利害関係ではなく人間同士の兄弟愛として、そしてその中で存在感の尊さ、それを意識しながら見せて下さったその教えを考えてみますと、自分も知らないうちに自分の中にも君臨しようとするところがあるのではないかと。もし、それを非難されたら自分も気づかないうちに不快な気持ちに陥って、相手を逆に見下ろそうとする心もあつたのではな

いかと反省してみました。

結局、私達は自分との戦いが必要だと思います。実際、サービスという言葉の動詞は仕えるという意味です。仕えるという言葉の真の意味を意識しながら私達は“正しく仕える者”になれるように努力しなければならないと思います。

ありがとうございました。